

学力向上アクションプラン(杵築市)

目標及び指標

【目標】

- ・学力中・上位層の更なる学力の向上
- ・学力下位層の縮減(中学校を中心に)

達成指標

- 【全国学力・学習状況調査】
- ・全ての教科の「知識」「活用」が全国平均正答率を超える。
- 【大分県学力定着状況調査】
- ・全ての教科の「知識」「活用」が偏差値52を超える。
- 【杵築市基礎基本定着状況調査(1月)】
- ・小5・6年、中2の全ての教科の「知識」「活用」が全国平均正答率を超える。

取組指標

- ・全ての教員が、毎時間、「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を設定した授業を行う。
- ・全ての教員が、毎時間、「ねらい」を明確にもち、中心となる学習活動が「習得」か「活用」かを考えて、時間配分や授業形態等を工夫して授業を行う。
- ・全ての英語科の教員が、毎単元、技能統合型の授業を行う。
- ・各学校は、可能な限り算数科・数学科・英語科の習熟度別指導を行う。
- ・全ての教員が、毎時間、習熟の程度に応じた指導を行う。

- 【大分県学力定着状況調査】
- ・学力下位層(偏差値34以下)の割合(7%未満)
- 【杵築市基礎基本定着状況調査(1月)】
- ・全ての教科で達成率(正答率が目標値と同程度、あるいは上回っている児童・生徒の割合)、小5:80%以上、中2:75%以上

行動計画

①「中学校学力向上対策3つの提言」の実施に関して

【1. 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底】

- ・教務主任、研究主任を中心とした「授業改善の5点セット」を活用した校内研究による授業改善。
- ・学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員による「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業の実施。
- ・杵築市指定研究校(杵築中2/2)における「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業による研究発表の実施。
- ・文科省指定研究校(宗近中2/2)における実践報告。
- ・可能な限り数学・英語の習熟度別指導の実施。
- ・補充学習(朝学習・放課後学習)、週2時間以上の実施。

【2. 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築】

- ・市教研教科部会の充実。特に学力向上支援教員等の公開授業においては、各教科部会で事前、事後の研究会を実施。
- ・学力向上支援教員等による教科部会での研修会の実施。
- ・学力向上支援教員等の他校訪問による指導・助言。
- ・各学校における意図的な「タテ持ち」の実施。

【3. 「生徒と共に創る授業」の推進】

- ・生徒による授業評価の実施。
- ・各学校における生徒会を活用した「学習目標」の設定と振り返りの実施。

②小学校の授業改善の取組について

- ・教務主任、研究主任を中心とした「授業改善の5点セット」を活用した校内研究による授業改善。
- ・学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員による「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業の実施。
- ・杵築市指定研究校(大内小2/2)における「新大分スタンダード」を踏まえた公開授業による研究発表の実施。
- ・可能な限り算数科等の習熟度別指導の実施。
- ・学力向上支援教員等の他校訪問(市内全ての小学校)による指導・助言。

③家庭・地域と連携した学力向上の取組について

- ・「学校評価の4点セット」の学力に係る取組指標に、「家庭・地域との協働」について設定し、取組を進める。
- ・家庭学習の時間の確保について家庭と連携して取り組む。